

# 夢のある遊具で物語の世界を遊ぶ。 子供たちの感性と冒険心を育てたい。



## 幼稚園・保育園向け遊具を 魅力あるものに

キョートなキャラクターにすべり台を組み込んだ「子ゾウさんですべろー」やネット登りの「象のはなこ」。森の小動物がいっぱい隠れた丸太で木登りごっこが



ネットや吊り橋、スパイラルすべり台などを組み合わせた複合遊具「サンタマリア号シリーズ」

を自在に扱い、豊富なバリエーションを誇っている。

例えば、単体のネット渡りやすべり台を連ねることで「夢の列車」や「くまさんの船」などの複合遊具に変わり、幼稚園や保育園の庭に「遊びの王国」が現れるというわけだ。

「当社ならではの複合素材遊具を支えているのは、FRP成型品製作や鋼材加工、塗装等の工程をゆだねる多数のパートナー業者。大きなサイズのFRP成型品が得意な業者、細密表現が得意で多彩な「技」を持つ業者、それぞれが専属に近い存在となっている。おかげで私たちは自由に新しい造形表現にチャレンジできる。」  
特にこだわらるデザインワークは気鋭の社内クリエイター陣が担う。三次元CADを駆使して「この勾配は安心か」「スパイラルトンネルの高さは確保できるか」などを設計時に確認し、夢がふくらむデザインと安全性の両立に心を砕く。造形物のイメージを決定する基本デザインを造形作家に依頼することも多い。

## 業界基準を超える自主基準で

### 幼児の発達に応じた安全性

幼稚園・保育園向け遊具でもっとも重視するのは安全性だ。「遊具メーカーが加盟する社団法人日本公園施設業協会の幼稚園・保育園向け遊具の安全基準は3〜6歳がひとくくり。当社は『年少・年

楽しめる「森の会議がはじまるよー!」はしご登りやつり橋などを満載した赤や青色屋根のメルヘンハウス「おもちゃランド」など。

冒険心を誘うカラフルな色彩。温もりとユーモアにあふれる造形表現。犀工房は幼稚園・保育園向け遊具づくりを通して



森の小動物いっぱい「森の会議がはじまるよー!」と「むしさんみつけ」の設置例

中・年長」の3段階の自主基準を設けて、年齢ごとの発達段階に応じた安全設計に努めている。

幼児向け遊具で30年近くの経験を積み、トップランナーとして走り続けてきた犀工房は、常に独自の工夫に試み続けている。そんな中から「安全面での新機軸」も次々と生み出してきた。例えば、通常より3倍の深さを持つ「U型すべり台」。急カーブでもすべり台から飛び出す心配がなく、スリリングな感覚を味わえる。また、高さ3メートルから落ちてくるスパイラルチューブでも急勾配や急旋回が安心して楽しめる。

しっかりと安全性に配慮しながら「どれだけ楽しめるのか」を追求するのが犀工房のスタイルのようだ。「安全に気を使えうあまり、遊具から冒険心や挑戦心をなくしたくない。少し冒険することによって子供の身体能力は育つ」。東出社長のこんなこだわりが犀工房の遊具に魅力を与えているのだろう。

て、幼い子供たちに春風のような笑顔を創りだす。

「3〜6歳の幼児期は人格形成にとって大切な時期。創造する力、チャレンジする心、健やかな感性をすくすくと育む遊具を全国の子供たちに届けたい。そのために、私たちは「物語性のあるデザインと造形」にこだわり続ける」。豊かな感性を持つクリエイター、東出俊司社長はこう語る。幼児向け出版社と縁があったことで遊具業界に参入し、幼稚園・保育園向け遊具を手掛ける犀工房を1986年に設立した。

当時の遊具業界の主力マーケットは公園向け。幼稚園・保育園に力を注ぐ業者はほとんどなかった。すべり台やブランコなどはシンプルでモノトーン、面白くないものばかり。「幼児の感性を育む魅力のある楽しい遊具を創りたい。絵本の世界に包み込まれて遊ぶワクワク感を創造したい」。東出社長が設立時に描いた



カラフルで楽しい複合遊具「レトロな汽車シリーズ」

## まだまだ伸び続ける 人気キャラクター遊具

独自のノウハウから生まれた犀工房の遊具。幼稚園・保育園に販路を持つ教育出版社から信頼され、全国トップの供給実績を誇っている。

ここ数年の遊具の大きなトレンドは、アニメや絵本の人気キャラクターを使つたものだ。権利を持つ教育出版社と独占契約を結ぶケースが大半で、キャラク

その夢は、それから30年近くにおよぶ犀工房の遊具づくりの「原点」となった。

## FRPに鋼材、木を組み合わせた デザインと安全性を両立

東出社長が創業前にディスプレイの制作で培ってきた「魅力的な立体造形物を生み出す手法」。それを応用することで、遊具の表現性を大幅に高めることに成功した。

最も大きな功績は繊維強化プラスチック(FRP)製の造形物に金属や木を組み合わせて、遊具としての機能性、安全性と魅力ある表現力を融合させたことだろう。鋼材製のフレームや木製のデッキを組み込んで、独自に開発したFRPを表面素材に使用することでポリウレーム感のある立体キャラクターや造形物を実現した。今では、高密度ポリエチレンやFRPなどのさまざまな素材



キャラクターにすべり台を組み合わせた「子ゾウさんですべろー」

ターの立体表現と物語性は他の追随を許さず、評価・支持されている。「今や当社オリジナル遊具と並ぶ看板商品に育つ勢いだ。日本のアニメ文化に憧れる海外への販路拡大も期待できる」。  
得意の立体キャラクターを企業のイメージ戦略に生かす新事業も、東出社長の頭の中でふくらみつつある。「しかし心は遊具に注ぎ続けたい。われわれが提供した遊具で楽しく遊んだ、幼児の記憶をいつまでも残すために」。

## Profile

### 株式会社犀工房

- 本社/大津市上田上平野町337-3
- 設立/1986年
- 資本金/2,000万円
- 従業員数/24名
- 事業内容/幼稚園・保育園用遊具、エクステリア関係、各種モニュメント等の企画、デザイン、製造、販売

<http://www.saikobo-japan.com/>



代表取締役

東出 俊司氏

## Voice

当社の遊具で遊んだ子供が成人して自分の子供に「楽しかったよ」と話すことで世代をつなぐ絆が生まれる。遊具から始まるそんな物語のために、いつまでも心に残る遊具を創造することが私たちの喜びです。